

第3学年 社会科学習指導案

日 時 令和〇年〇月〇日 (〇)
 第6校時 13:25～14:00
 対 象 第3学年1組 31名
 学校名 小学校
 指導者 〇〇 〇〇
 会 場 教室

1 小単元名 「市の様子と人々のくらしのうつりかわり」

2 小単元の目標

- (1) 市の様子の移り変わりについて、交通や公共施設、土地利用や人口の変化、生活の道具などの時期の違いに着目し、調査したり地図などの資料で調べたりしたことをまとめ、変化の傾向を考え表現することを通して、市や人々の生活の様子は、時間の経過に伴い、移り変わってきたことを理解できるようにする。
- (2) 市の様子の移り変わりや人々の生活の変化について、学習問題の解決に向けて意欲的に追究し、学んだことを基にして、市の発展に関心を持ち、市の将来について進んで考えようとする。

3 小単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
① 交通や公共施設、土地利用や人口の変化、生活の道具などの時期の違いに着目して、市の人々の生活の様子は、時間の経過に伴い、移り変わってきたことを理解している。	① 交通や公共施設、土地利用や人口の変化、生活の道具などの時期の違いに着目して問いを見だし、市や人々の生活の様子の变化の傾向を考え、表現している。	① 市の様子の移り変わりについて、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。
② 市の様子の移り変わりについて、聞き取り調査をしたり地図や写真などの資料で調べたりして、年表にまとめている。	② 市の少子化や高齢化、国際化等の課題を把握し、市の将来の姿について考え、説明したり表現したりしている。	② 学習したことを基に、市の発展に関心を持ち、市の将来の姿について進んで考えようとしている。

4 指導観

(1) 単元観

本小単元は、小学校学習指導要領（平成29年7月告示）第3章1節社会第3学年の目標(1)、(2)、(3)及び内容(4)に基づいて設定した。

目標

社会的事象の見方・考え方を働かせ、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

- (1) 身近な地域や市区町村の地理的環境、地域の安全を守るための諸活動や地域の産業と消費生活の様子、地域の様子の移り変わりについて、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。
- (3) 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。

内容

(4) 市の様子の変り変わりについて、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 市や人々の生活の様子は、時間の経過に伴い、移り変わってきたことを理解すること。

(イ) 聞き取り調査をしたり地図などの資料で調べたりして、年表などにまとめること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して、市や人々の生活の様子を捉え、それらの変化を考え、表現すること。

本小単元の学習を通じて、市の様子の変り変わりについて理解する。市の様子の変りわりとは、自分たちの市において、交通や公共施設が整備されたり人口が増えたり、土地利用の様子が変わったりしてきたこと、それらに伴い市や人々の生活の様子が変化してきたことを指している。

市の様子の変りわりに関する内容については、アの(ア)及び(イ)とイの(ア)を関連付けて指導する。例えば、交通や公共施設、土地利用や人口の変化、生活の道具などの時期による違いに着目して、聞き取り調査をしたり地図などの資料で調べたりして、年表などにまとめ、市や人々の生活の様子を捉え、それらの変化を考え、表現することを通して、市や人々の生活の様子は、時間の経過に伴い、移り変わってきたことを理解できるようにする。

また、市の様子の変りわりについて理解したことを基にして、これからの市の発展に関心を持ち、市が将来どのようなようになってほしいか、そのために市民としてどのように行動していけばよいかなど、市の将来について考え、自分の意見を文章で記述したり説明したりできるようにして、思考力、判断力、表現力を育てるようにする。

以上のような思考や理解を通して、学習問題を主体的に解決しようとする態度やよりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養うようにする。

(2) 児童観

社会科の学習について、積極的に取り組む児童が多い。「学校のまわり」や「市の様子」の単元では、今まで見聞きした経験を生かし、駅の周りの様子や土地の高低の様子など、地理的な視点で理解したり考えたりする児童が目立った。また、「店ではたらく人」の単元では、1週間の買い物調べから、スーパーを利用する家庭が多い事実を読み取った。その際、「学級の人数は31名なのに、スーパーには40回以上も行っている。つまり、週に2回以上スーパーに行く家庭もある。」という実態に気付く児童も多くいた。それを基に「なぜ、週に2回以上もスーパーに行くのだろう。」「スーパーにはどんな秘密があるのだろう。」と学級全体の問題意識が高まり、学習問題をつくって問題解決的な学習を進めることができた。

問題解決的な学習に意欲的に取り組む一方で、ノートを書いたり資料から読み取ったりするなど、基礎的・基本的な学習習慣に課題がある児童が見受けられ、学習内容の理解度や思考力に個人差も見られる。そのため個別に資料に説明を書き加えたり、キーワードとなるような用語・語句などを噛み砕いて説明したりする等、支援を行っていく。

(3) 教材観

本小単元は、地域の様子や人々の生活の変化を時間の経過とつなげて学習する単元である。「50～60年前」、「30～40年前」、「現在」という時間の推移を意識しながら学習が進められるように、年表に毎時間の学習を整理していくようにする。また、身近な駅や街の様子の変遷を写真資料として教材化することで、児童の生活経験と比較して考えられるようにする。

本時は、前時まで理解したことを年表に位置付けながら、人々の生活が向上したことについて考える時間である。道路や土地の使われ方と人々の生活の変化をつなげて考える活動が中心になる。そこで、時間の推移によって、社会情勢が変化し、よりよい社会をつくりだそうと人々が努力してきたことについて具体的に捉えることができる教材として、当時の様子が分かる交通道路図や土地利用図、児童の発表用の写真資料などを使用する。これらの資料により、社会的な見方・考え方をういて思考をしやすいようにする。

5 年間指導計画における位置付け

	小単元名	時数
前期	わたしたちのまち みんなのまち (オリエンテーション)	1 時間
	学校のまわり	3 時間
	市の様子	12 時間
	はたらく人とわたしたちの暮らし (オリエンテーション)	1 時間
	農家の仕事	11 時間
後期	店ではたらく人	12 時間
	いかす (第2単元)	1 時間
	暮らしを守る (オリエンテーション)	1 時間
	火事から暮らしを守る	7 時間
	事故や事件から暮らしを守る	6 時間
	いかす (第3単元)	1 時間
	市のうつりかわり (オリエンテーション)	1 時間
	市の様子と人々の暮らしのうつりかわり	13 時間

6 小単元の指導計画と評価計画 (13 時間扱い)

過程	時	ねらい	○学習活動 ・予想される児童の反応	□指導上の留意点 ※資料	◆評価規準 (評価方法)
つかむ	1	昔と今では、まちの様子が違うことや、まちの様子の変化の傾向を考えている。	『昔と今のまちの様子を調べよう。』 ○教科書のイラストを読み取り、今と違う場所や、変化したことを話し合う。 ・駅の様子が変わった。 ・畑が減った。 ・建物の高さが変わった。 ・道路の位置は変わらないけれど両側のお店の様子が変わっている。	□同じところと違うところ (変化したところ) という視点で資料を読み取らせる。 ※昔と今のまち (教科書イラスト)	◆イー① 昔と今のまちの様子の変化の傾向について、自分の考えを記述している。 (ノート記述分析)
	2	多摩市の昔の写真と現在の写真を比べ、時間の経過に伴って、様子の変化したことを理解する。	『昔と今の多摩市の様子を調べよう。』 ○前時の学習を振り返る。 ・まちには、変わったところと変わらないところがある。 ○多摩市の写真を比較して、変化したことを話し合う。 ・多摩センター駅がない。 ・一面畑や森だった。 ・住宅は 30~40 年前に急に増えた。	※多摩ニュータウン建設前の写真 ※多摩ニュータウン建設中、直後の写真 ※現在の写真	◆アー① 時間の経過につれて、多摩市の様子が変化したことを理解している。 (ノート記述分析)

調べる	3	多摩市の写真と地図を基に、調べることを出し合い、学習問題意をつくる。	『学習問題をつくろう。』 ○前時の学習を振り返る。 ・多摩市は、時間が経つと、様子が大きく変わった。 ○多摩市の様子の変化について、疑問に思ったことを道路や土地の使われ方、公共施設、市の様子、家庭の暮らし等の視点で分類する。 ・家の前の道都是昔もあったのだろうか。 ・畑や家は、昔からこの近くにあったのだろうか。 ・小学校はいつごろできたのだろうか。	※前時の写真	◆ウー① 多摩市の様子がどのように変化したかについて疑問をもち、主体的に学習に取り組もうとしている。 (ノート記述分析)
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 0 auto; width: fit-content;"> <p>学習問題 多摩市の様子は、どのようにうつりかわってきたのだろう</p> </div>				
	4	多摩市の道路の様子が変化してきたことを理解する。	『多摩市の道路は、どのように変化してきたのだろう。』 ○昔と今の交通道路図を比較して、道路が増えてきた様子を調べる。 ・50年以上前は、道路がほとんどなかった。 ・30年前くらいから、一気に道路が増えた。		◆アー① 多摩市の道路の様子の変化について、昔と今の交通道路図を調べ、理解している。 (ノート記述分析)
	5	多摩市の土地の使われ方が変化してきたことを理解する。	『多摩市のまちの様子はどのように変化してきたのだろう。』 ○昔の土地利用図と今の土地利用図を色分けする。 ・50年以上前は、ほとんど田畑や森になっている。 ○色の違いに着目し、土地の使われ方の変化を調べる。 ・30年前くらいから、住宅が増えた。	※昔の土地利用図 ※今の土地利用図	◆アー① 多摩市の土地の使われ方の変化について、昔と今の土地利用図を通して調べ、理解している。 (ノート記述分析)
6 (本時)	多摩市の道路や土地の使われ方の変化について年表にまとめ、人々の生活の変化について自分の考えをもつ。	『道路やまちの変化について、年表にまとめよう。』 ○道路の様子や土地利用の様子の変化を年表にまとめる。 ○年表から、人々の生活がどのように変化したかを考え、自分の意見を書く。	※昔の交通道路図 ※今の交通道路図 ※昔の土地利用図 ※今の土地利用図 ※年表	◆アー② 多摩市の道路や土地の使われ方の変化について、年表にまとめている。 (年表分析) ◆イー① 多摩市の道路や土地の使われ方の変化に着目し、人々の生活の変化について自分の考えを表現している。 (ノート記述分析)	

調 べ る	7	多摩市には、どのような公共施設が建設されてきたかを理解する。	『多摩市の公共施設の変化について調べよう。』 ○多摩市にどのような公共施設が建設されてきたかを調べ、時期ごとに色分けをして白地図に書き込む。 ・30年前くらいに、公共施設が急に増えた。 ○調べたことを伝え合う。	※昔の多摩市の地図 (公共施設の場所を示したもの) ※今の多摩市の地図 (公共施設の場所を示したもの)	◆アー① 多摩市の公共施設の変化について、資料を調べることを通して理解している。 (ノート記述分析)
	8	多摩市の公共施設の種類や数の変化を年表にまとめ、人々の生活の変化について自分の考えをもつ。	『分かったことを年表にまとめよう。』 ○公共施設の種類や数の変化を年表にまとめる。 ・30年前くらいから、急に公共施設が増えた。 ・小学校は、現在は減っている。 ○公共施設の変化によって、人々の生活にどのような変化が起こったかについて、自分の考えを書く。 ・安全に暮らせるようになった。 ・住宅が増えた結果、小学校が増えた。	※昔の多摩市の地図 (公共施設の場所を示したもの) ※今の多摩市の地図 (公共施設の場所を示したもの) ※年表	◆アー② 多摩市の公共施設の種類や数の変化について、年表にまとめている。 (年表分析) ◆イー① 多摩市の公共施設の種類や数の変化に着目し、人々の生活の変化について自分の考えを表現している。 (ノート記述分析)
	9	多摩市の人口の変化について、多摩市のできごとと比較しながら調べ、多摩市の人口が増えてきたことを理解する。	『多摩市に住む人は、どのくらい変わったかを調べよう。』 ○年表のできごとと人口グラフを比較して、市の人口が増えたきっかけについて話し合う。 ・道路や家が増えたことで、住む人も増えた。 ・住む人が増えると、公共施設も増えた。	※人口グラフ ※年表	◆アー① 多摩市の人口の変化について、多摩市の出来事と比較しながら調べ、多摩市の人口が増えてきたことを理解している。 (ノート記述分析)
	10	道具の変化について具体物で調べたり、聞き取り調査をしたりしてわかったことを年表にまとめる。	『身の回りの道具はどのように変化したのかを調べよう。』 ○昔の道具を実際に触って、当時の道具について理解する。 ・電気を使う物が少ない。 ・おばあちゃんの家で見たことがある。 ○道具を使っていたころの人の話を聞く。 ○現在の道具と比較して、生活がどのように変化したかについて年表にまとめる。 ・電気が使われることで、便利な電化製品が増えた。 ・昔は手作業でやっていたことも、今は機械を使ってできるようになった。	※昔の道具 ※インタビュー資料	◆アー② 道具の変化について、具体物で調べたり、聞き取り調査をしたりして、分かったことを年表にまとめている。 (年表分析)

まとめる	11	年表を振り返ることを通して、時期ごとの変化について、自分の考えをもつ。	『年表を見て、多摩市がどのように変わってきたのかを考えよう。』 ○年表を振り返り、多摩市の様子が変わってきたきっかけやできごとをまとめる。 ・多摩ニュータウンができた結果、道路や家、人口が増えた。 ○できごと同士のつながりを考え、多摩市の様子の変化について、自分の考えをまとめる。 ・鉄道や道路が整ってきたことで多摩ニュータウン以外のところにも住宅も増え、多摩市の人口も増えてきている。 ・多摩市の様子は、50年前くらいから、だいぶ変化している。	※年表 ※わたしたちの多摩市（副読本）	◆イー① 多摩市の様子が変わってきたきっかけやできごとのつながりに着目し、人々の生活の変化について自分の考えを表現している。 (ノート記述分析)
	12	多摩市の現在の課題や、課題に対する施策や取組を理解する。	『多摩市の今について調べよう。』 ○市の現状や、市の施策や多摩市内で行われている取組を調べる。 ・高齢化や少子化、国際化が進んでいる。 ・課題に対して、多摩市はいろいろな取組をしている。	※「多摩市健幸まちづくり」資料 ※「多摩市健幸都市宣言」抜粋	◆アー② これからの多摩市の発展について、多摩市の施策や取組を調べ、理解している。 (ノート記述分析)
生かす	13	多摩市の未来を表現した、キャラクターをつくる。	『学習したことを生かして、多摩市の未来を表したキャラクターを作ろう。』 ○多摩市をどんなまちにしていきたいか話し合い、自分の考えをもつ。 ○キャラクターを決め、自分の考えを表現させる。	※「にゃんとも tama 三郎」のイラスト □絵を描くことに抵抗がある児童には、多摩市の公式キャラクターの台詞を考えさせる。	◆イー② これからの多摩市の発展について、自分の考えを表現している。 (ロードマップ記述分析) ◆ウー② 学習したことを生かして、多摩市の未来のよりよいまちの在り方について、進んで考えようとしている。

7 指導に当たって

班テーマの「児童の意欲が持続するような指導計画の工夫」を踏まえ、以下のような手立てを講じる。

(1) 学習計画表の活用

単元の学習計画や評価規準を載せた学習計画表を基に、毎時間の学習内容の振り返りを行わせる。これにより、児童が学びの成果を自覚し、見通しをもって学習を進めることができるようにする。

(2) 単元を通した年表づくり

多摩市の様子の変化に関して学んだことを年表に整理し、児童が時間の経過を意識しながら毎時間の学習を進めることができるようにするとともに、次時の学習にも活用できるようにしていく。

年表内には、「道路」「土地利用」「公共施設」「人口」「道具」「人々の生活」という視点を入れる。そのことにより、それぞれの事象のつながりについて、自分の考えをもったり深めたりすることができる。と考えた。

(3) キャラクターづくりの学習活動

自らの学びを可視化するために、多摩市の未来を現したキャラクターを作る学習活動を設定する。第1学期の学習で、多摩市では、市の特色をアピールするための様々なキャラクターがつけられていることを学習した。その学習を生かし、本小単元の「生かす」段階では、オリジナルのキャラクターを作製することで、多摩市をどのようなまちにしていきたいかという考えを楽しく表現できるようにする。創作的な活動が苦手な児童については、既存の公式キャラクターを用いて、台詞やキャッチフレーズを考える活動を工夫することで、自分の考えを表出させやすくする。

8 本時（全14時間中の第6時）

(1) 本時の目標

多摩市の道路や土地の使われ方の変化について年表にまとめ、人々の生活の変化について自分の考えをもつ。

(2) 本時の展開

時間	○主な学習活動 ・予想される児童の反応	□指導上の留意点 ※資料	◆評価規準 (評価方法)
導入 3分	○学習問題とこれまでの学習を前時に使った資料や学習計画表を基に振り返り、本時のめあてを確認する。 ・多摩市の道路は、増えてきている。 ・昔は畑がほとんどだったけど、今は家が多い。	□交通道路図や土地利用図を用いて、前時までの学習を振り返られるようにする。	
道路やまちの変化を、年表にまとめよう。			
展開 27分	○資料から必要な情報を集め、年表にまとめる。 <u>交通道路図</u> ・50～60年前は、道路がほとんどなかった。 ・30～40年前の多摩ニュータウン建設で、道路が一気に増えた。 <u>土地利用図</u> ・50～60年前は、多摩市はほとんど畑ばかりだった。 ・30～40年前から、一気に家が増えた。 ・今でもいろいろなところで家が建っている。 ○年表にまとめた内容を発表する。 ○年表にまとめたことから、人々の生活がどのように変化したかを考え、自分の意見を書く。 ・道路が増えることで、まちの中の移動がしやすくなった。 ・家が増えたことで、住む人が増えたと思う。 ・道路が増えたから、住みやすくなったから、家が増えたんだと思う。 ・生活しやすくなった。	□年表の書き方がわからない児童に対しては、事前に準備した年表の例を渡す。 □机間指導をしながら児童のノートを大型テレビに映す。 ※交通道路図 ※土地利用図 (文章資料) □発表する児童は、事前に発表する内容の写真を撮り、大型テレビに映せるようにする。 □書きづらい児童には、「道路が増えたことで、住む人はどんな生活になったのだろう」「畑が家になると、多摩市の様子はどのように変わるのだろう」と補助的に発問する。	◆アー② 多摩市の道路や土地の使われ方の変化について、年表にまとめている。 (年表記述分析)

	○考えを発表する	□発表する児童は、事前に発表する内容の写真を撮り、大型テレビに映せるようにする。	
まとめ 5分	○学習したことを学習計画表にまとめる。 学習した内容の例 ・道路が増えることと、家が増えることがつながっていることが分かった。 ・自分の家の近くは、昔はもっと畑があったことが分かった。 ・家や道路が増えたことで、お店も増えたのかな。	□「社会的な見方・考え方」「学習の内容」の振り返りをさせる。	◆イー① 多摩市の道路や土地の使われ方の変化に着目し、人々の生活の変化について自分の考えを表現している。 (学習計画表記述分析)

(3) 板書計画

2/24

道路やまちの変化を、年表にまとめよう。

交通道路図

土地利用図

50～60 年前
↓
30～40 年前

50～60 年前
↓
30～40 年前

交通道路図

- ・50～60 年前は、道路がほとんどなかった。
- ・30～40 年前の多摩ニュータウン建設で、道路が一気に増えた。

土地利用図

- ・50～60 年前は、多摩市はほとんど畑ばかりだった。
- ・30～40 年前から、一気に家が増えた。
- ・今でもいろいろなところで家が建っている。

まとめ

- ・道路が増えることと、家が増えることがつながっていることが分かった。多摩市は、他にどんなことが起きたのだろうか。
- ・自分の家の近くは、昔はもっと畑があったことが分かった。
- ・家や道路が増えたことで、お店も増えた。

(4) 授業観察の視点

- ・学習計画表を本時の導入とまとめで活用したことは、児童に前時の学びの振り返りと本時の学習の見通し、本時の学びの成果を自覚させるとともに、次時の学習に見通しをもたせたり、学習意欲を持続させたりする上で有効であったか。
- ・50～60 年前と 30～40 年前の道路や土地利用の様子の変化を資料から捉え、年表に整理する活動は、市の様子の変化と人々の生活をつなげてその特徴を考える上で有効であったか。